

2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月27日

上場会社名 小田急電鉄株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9007 URL <https://www.odakyu.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 星野 晃司 (TEL) 03 (3349) 2526
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 石黒 徹 配当支払開始予定日 ー
 四半期報告書提出予定日 2018年8月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	131,034	3.6	16,776	4.3	17,217	6.8	12,112	14.8
2018年3月期第1四半期	126,483	0.1	16,077	6.4	16,117	2.6	10,552	△3.5

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 13,676百万円 (△2.6%) 2018年3月期第1四半期 14,036百万円 (156.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	33.60	—
2018年3月期第1四半期	29.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	1,280,646	376,603	28.9
2018年3月期	1,294,498	366,577	27.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 369,895百万円 2018年3月期 360,090百万円
 会計方針の変更に伴う遡及適用影響額を、2018年3月期の数値に反映して表示しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	10.00	—	11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	262,300	3.0	27,900	△7.9	26,500	△8.7	17,900	△6.8	49.66
通期	528,600	0.8	52,000	1.0	48,700	1.7	31,000	5.7	86.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

対前期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及修正後の前期数値と比較して記載してあります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	368,497,717株	2018年3月期	368,497,717株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	8,042,746株	2018年3月期	8,041,486株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	360,455,676株	2018年3月期1Q	360,466,670株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しております。従って、実際の業績は業況の変化などにより記載の予想とは異なる場合があります。

業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年6月30日)につきましては、全ての事業で増収となったことから、営業収益は1,310億3千4百万円と、前年同期に比べ45億5千万円の増加(前年同期比3.6%増)となりました。

これに伴い、営業利益は167億7千6百万円と、前年同期に比べ6億9千8百万円の増加(前年同期比4.3%増)、経常利益は172億1千7百万円と、前年同期に比べ11億円の増加(前年同期比6.8%増)となったほか、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては121億1千2百万円と、前年同期に比べ15億5千9百万円の増加(前年同期比14.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 運輸業

運輸業では、当社の鉄道事業において、複々線化に伴うダイヤ改正効果により定期・定期外ともに輸送人員が増加したことなどから、営業収益は450億3千万円と、前年同期に比べ5億8千9百万円の増加(前年同期比1.3%増)となりました。

一方、営業利益につきましては、当社の鉄道事業において費用が増加したことなどから、100億3千9百万円と、前年同期に比べ4億2千9百万円の減少(前年同期比4.1%減)となりました。

(業種別営業成績表)

業種別	当第1四半期連結累計期間 (2018. 4. 1～2018. 6. 30)	
	営業収益(百万円)	対前年同期増減率(%)
鉄道事業	34,229	1.3
自動車運送事業	9,578	2.0
タクシー事業	747	△1.7
航路事業	612	2.5
索道業	564	0.0
その他運輸業	523	23.1
調整額	△1,226	—
営業収益計	45,030	1.3

② 流通業

流通業では、百貨店業において、(株)小田急百貨店新宿店での訪日外国人客による免税売上が増加したほか、その他流通業において、前期に(株)白鳩を連結子会社化したことなどから、営業収益は554億7千8百万円と、前年同期に比べ27億8千4百万円の増加（前年同期比5.3%増）となりました。

これに伴い、営業利益は16億9千4百万円と、前年同期に比べ3億7千5百万円の増加（前年同期比28.5%増）となりました。

(業種別営業成績表)

業種別		当第1四半期連結累計期間 (2018. 4. 1～2018. 6. 30)	
		営業収益 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
百貨店業	小田急百貨店新宿店	24,378	6.1
	小田急百貨店町田店	8,579	△1.8
	小田急百貨店藤沢店	3,537	10.9
	その他	1,837	△0.5
	計	38,333	4.3
ストア・小売業		16,871	△1.7
その他流通業		2,035	243.1
調整額		△1,762	—
営業収益計		55,478	5.3

③ 不動産業

不動産業では、不動産分譲業において、リノベーション物件等の販売が増加したほか、不動産賃貸業において、前期に開業した物件の収入が寄与したことなどから、営業収益は140億9千6百万円と、前年同期に比べ12億1千6百万円の増加（前年同期比9.4%増）となりました。

これに伴い、営業利益は34億5千7百万円と、前年同期に比べ9億8千1百万円の増加（前年同期比39.6%増）となりました。

(業種別営業成績表)

業種別		当第1四半期連結累計期間 (2018. 4. 1～2018. 6. 30)	
		営業収益 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
不動産分譲業		5,381	12.4
不動産賃貸業		10,489	2.9
調整額		△1,774	—
営業収益計		14,096	9.4

④ その他の事業

その他の事業では、ホテル業において、前期に開業した物件の収入が寄与したことなどから、営業収益は248億9千8百万円と、前年同期に比べ1億3千6百万円の増加（前年同期比0.6%増）となりました。

一方、営業利益につきましては、ホテル業等において費用が増加したことなどから、15億3千6百万円と、前年同期に比べ2億3千2百万円の減少（前年同期比13.1%減）となりました。

(業種別営業成績表)

業種別		当第1四半期連結累計期間 (2018. 4. 1～2018. 6. 30)	
		営業収益 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
ホテル業	ハイアット リージェンシー 東京	2,957	0.5
	ホテルセンチュリー静岡	768	3.2
	小田急ホテルセンチュリー サザンタワー	972	1.8
	その他	3,225	1.8
	計	7,924	1.4
レストラン飲食業		5,149	0.4
旅行業		1,298	5.0
ビル管理・メンテナンス業		5,059	5.4
その他		6,903	△4.6
調整額		△1,437	—
営業収益計		24,898	0.6

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1兆2,806億4千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ138億5千1百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が減少したことによるものであります。また、負債の部は9,040億4千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ、238億7千7百万円減少いたしました。これは、主に有利子負債が減少したことによるものであります。

純資産の部は、3,766億3百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ100億2千6百万円増加いたしました。

なお、『「税効果会計に係る会計基準」の一部改正』（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等の適用に伴い、前連結会計年度末の数値に対し組み替え等をしたうえで比較しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間、通期とも、前回発表時（2018年4月27日）の予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,013	27,059
受取手形及び売掛金	24,070	23,606
商品及び製品	7,825	7,808
分譲土地建物	30,300	30,615
仕掛品	1,024	1,617
原材料及び貯蔵品	2,057	2,248
その他	36,244	34,756
貸倒引当金	△68	△65
流動資産合計	145,468	127,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	477,160	476,182
機械装置及び運搬具(純額)	51,379	49,615
土地	457,387	459,767
建設仮勘定	25,638	25,408
その他(純額)	10,134	10,078
有形固定資産合計	1,021,700	1,021,052
無形固定資産		
のれん	1,866	1,797
その他	14,064	14,431
無形固定資産合計	15,931	16,228
投資その他の資産		
投資有価証券	86,889	90,628
その他	25,412	25,993
貸倒引当金	△903	△904
投資その他の資産合計	111,397	115,718
固定資産合計	1,149,029	1,152,999
資産合計	1,294,498	1,280,646

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,169	24,683
短期借入金	198,929	189,887
1年以内償還社債	40,000	40,000
未払法人税等	8,353	4,460
前受金	4,618	4,443
賞与引当金	7,673	8,446
商品券等引換引当金	1,380	1,398
その他の引当金	82	62
資産除去債務	27	0
その他	96,855	91,231
流動負債合計	388,091	364,613
固定負債		
社債	140,000	140,000
長期借入金	232,544	230,517
鉄道・運輸機構長期未払金	96,874	96,874
退職給付に係る負債	18,657	18,660
資産除去債務	1,116	1,108
受託工事長期前受金	—	540
その他	50,636	51,728
固定負債合計	539,829	539,429
負債合計	927,920	904,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	60,359	60,359
資本剰余金	58,422	58,421
利益剰余金	213,927	222,415
自己株式	△10,552	△10,555
株主資本合計	322,157	330,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,198	37,546
土地再評価差額金	548	548
退職給付に係る調整累計額	1,185	1,158
その他の包括利益累計額合計	37,932	39,254
非支配株主持分	6,487	6,708
純資産合計	366,577	376,603
負債純資産合計	1,294,498	1,280,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業収益	126,483	131,034
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	89,659	92,802
販売費及び一般管理費	20,746	21,455
営業費合計	110,406	114,258
営業利益	16,077	16,776
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	953	984
持分法による投資利益	572	610
雑収入	673	635
営業外収益合計	2,203	2,232
営業外費用		
支払利息	1,608	1,561
雑支出	555	228
営業外費用合計	2,163	1,790
経常利益	16,117	17,217
特別利益		
固定資産売却益	33	22
工事負担金等受入額	360	363
その他	3	4
特別利益合計	398	390
特別損失		
固定資産売却損	1	4
固定資産圧縮損	272	353
固定資産除却損	131	286
関係会社株式売却損	856	—
その他	1	12
特別損失合計	1,263	657
税金等調整前四半期純利益	15,252	16,950
法人税、住民税及び事業税	4,147	4,207
法人税等調整額	281	388
法人税等合計	4,429	4,596
四半期純利益	10,822	12,354
非支配株主に帰属する四半期純利益	270	242
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,552	12,112

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	10,822	12,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,095	1,396
退職給付に係る調整額	15	△26
持分法適用会社に対する持分相当額	101	△47
その他の包括利益合計	3,213	1,322
四半期包括利益	14,036	13,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,753	13,433
非支配株主に係る四半期包括利益	282	243

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(税効果会計に係る会計基準の適用指針の適用)

「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日改正)を当第1四半期連結会計期間から適用し、個別財務諸表における子会社株式等に係る将来加算一時差異の取り扱いを見直しております。また、当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

なお、当該変更に伴う影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営業収益							
外部顧客への営業収益	43,695	52,116	11,541	19,129	126,483	—	126,483
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	745	577	1,338	5,631	8,293	△8,293	—
計	44,441	52,694	12,879	24,761	134,776	△8,293	126,483
セグメント利益	10,468	1,318	2,475	1,768	16,031	46	16,077

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

ホテル業、レストラン飲食業、旅行業、ゴルフ場業、鉄道メンテナンス業、ビル管理・メンテナンス業、広告代理業、園芸・造園業、経理代行業、保険代理業及び企画設計・運営業

2 セグメント利益の調整額46百万円は、セグメント間取引消去56百万円及びのれん償却額△10百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営業収益							
外部顧客への営業収益	44,296	54,556	12,672	19,508	131,034	—	131,034
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	733	922	1,423	5,390	8,469	△8,469	—
計	45,030	55,478	14,096	24,898	139,503	△8,469	131,034
セグメント利益	10,039	1,694	3,457	1,536	16,727	48	16,776

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

ホテル業、レストラン飲食業、旅行業、ゴルフ場業、鉄道メンテナンス業、ビル管理・メンテナンス業、広告代理業、園芸・造園業、経理代行業、保険代理業及び企画設計・運営業

2 セグメント利益の調整額48百万円は、セグメント間取引消去56百万円及びのれん償却額△7百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。